

環境白書の発刊にあたって



昨年の世界の平均気温は 15.1℃で、産業革命前に比べて 1.6℃高く、パリ協定で気温上昇を抑える目標とされる 1.5℃水準を単年で初めて超えました。また、日本においても、昨年は平均気温が平年値を大きく上回り、京都府においても、京都市で観測史上初めて猛暑日と熱帯夜がともに 50 日を超えるなど、まさに国際連合事務総長が発言された「地球沸騰化の時代」を実感することとなりました。このように、地球温暖化が私たちの生活に大きな影響を与えている中、未来の世代のために持続可能な社会を実現するためには、今を生きる私たち一人ひとりが意識や行動を変えていかなければなりません。

京都府においては、令和 5 年 4 月からスタートした京都府総合計画において「共生による環境先進地・京都の実現」をビジョンの一つとして掲げ、2050 年までの温室効果ガス排出量実質ゼロの実現に向けた取組の推進、再生可能エネルギーの最大限の活用、廃棄物の 3R によるゼロエミッションな社会の構築、生物多様性の保全・継承等を中心に、環境と共生した社会づくりを府民や事業者の皆様とともに推進しているところです。

本年は、4 月に開幕する大阪・関西万博に合わせ、例年開催している「KYOTO 地球環境の殿堂」を拡充し、過去の殿堂入りを招聘したシンポジウムや国内外の高校生などが京都 1200 年の歴史の中で培われた自然環境と文化の関係について探求するワークショップを開催し、人と地球の未来のあるべき姿について世界へ広く発信することとしております。引き続き、府民の皆様が地球環境問題に関心を持っていただけるような取組を実施し、環境先進地・京都の実現を目指してまいります。

この白書では、京都府の環境施策の基本的な体系、最近の主な取組の成果、大気・水質の環境モニタリング結果など、京都府の環境施策の状況等を広く御紹介しています。多くの皆様に御活用いただき、いま一度、環境の大切さについて考え、環境を守り育てる取組を推進していただくきっかけとしていただければ幸いです。

令和 7 年 3 月

京都府知事 西脇隆俊